

大単元	I わたしたちの国土	4・5・6月(25時間)
目標	自然環境としての国土の様子と特色ある地域に住む人々の生活を理解し、我が国の国土の環境に関心をもつ。	

単元	I-1 世界の中の国土	4月(5時間)
----	-------------	---------

目標	我が国の国土の様子について、地図帳や地球儀、各種資料等で調べ、我が国の国土の特色を理解する。	
----	--	--

評価規準	<p>(①知・技) 世界の大陸と主な海洋の位置や広がりや主な国の位置、それらと我が国の位置関係、我が国の国土を構成する島の名称と位置、我が国の北端、南端、東端、西端の島などを含めた6,800以上の島を含む我が国の領土の範囲などを基に世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。</p> <p>我が国の国土の様子について、地図帳や地球儀、衛星写真などの資料で国土の位置や構成、領土の範囲などを調べ、まとめることができる。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の国土の様子について、学習問題を見いだしたり、その特色を考えたりして、説明している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の国土の様子に関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。</p>	
------	---	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○我が国の産業を知り、それらを学習する上で必要な地理的な知識について話し合い、問題意識をもつ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習問題例 世界における我が国の領土は、どのようになっているのだろう</p>	○世界の国々や日本の領土について、疑問点や調べたいことを考えられるように、透明地球儀を用意する。	◇世界の主な大陸や海洋、我が国の国土の位置や領土についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○地球儀の見方を知り、六大陸や三大洋、日本やその周辺の国の位置を調べ、白地図にまとめる。	○日本と周囲または世界の大陸や海洋、国々の位置関係や大きさについて球体の上で具体的に捉えられるように、調べる際に地球儀を用意する。	◇世界の主な大陸や海洋、周辺の国の名前や、緯度・経度を用いて、我が国の位置を白地図に表している。 <学習シート①>
追究する・まとめる	2	○我が国の領土について調べる。	○我が国の領土の範囲を調べられるように、国土の広がりを示す地図を用意する。	◇我が国の領土の範囲を島の名称や方位を用いて白地図に表している。 <学習シート①>
	1	○我が国の領土や経済水域、他の国との領土問題について調べ、白地図にまとめる。	○日本の領土や経済水域、他の国との領土問題を調べられるように、地図帳の該当するページや領土問題の具体的な事例を示した資料を用意する。	◇日本の領土と領土問題について記述している。 <学習シート②>

【備考】

- ・地球儀と透明地球儀(ビーチボール型)は、社会科準備室に保管してある。
- ・主な大陸と海洋については、ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六大陸と太平洋、大西洋、インド洋の三海洋の名称と位置を扱う。
- ・取り扱う世界の国々については、近隣諸国を含め、ユーラシア大陸やその周りに位置する国の中から10か国程度、それ以外から2か国程度を取り扱うようにする。
- ・年度によっては、オリンピックやWBC、サッカーワールドカップに出場する国々など、子どもたちが興味・関心を高くもてる国々について取り扱うようにする。
- ・取り扱う国々については、正式な国名を取り扱う。
- ・領土問題については、北方領土や尖閣諸島、竹島を取り扱い、日本政府の見解を子どもたちに伝える。その際、我が国の立場は、歴史的にも国際法上も正当であることを踏まえて指導する。学級の実態に合わせて、特定の国を貶めることがないように十分に配慮する必要がある。
- ・テストは、「I-2 日本の国土の特色、I-3 低い土地に住む人々の生活」と併せて行う。
- ・NHK for school 動画「日本の領土・領海・領空」「日本の東西南北の端はどこ」を見るとよい。

単元	I - 2 国土の地形の特色			4月(4時間)
目標	国土の地形について、地図や写真で調べ、場所による違いや特色を考え、国土の概要を理解する。			
評価 規準	(①知・技) 我が国の国土の地形は全体として山がちで平地が少ないことなどを基に、我が国の国土の地形の概要を理解している。 我が国の国土の地形について、地図や立体模型、統計や写真などの資料で調べ、まとめている。 (②思・判・表) 我が国の国土の地形について学習問題を見いだしたり、特色について考えたりして、説明している。 (③主体的態度) 我が国の国土の地形について関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つか かむ	1	○国土の山地や平地、川などを話し合い、様々な地形の写真から疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習問題例 国土の地形には、どのような特色があるのだろう </div> <調べる観点> ・山地(火山を含む) ・平地や川	○国土の地形の様子に関心をもてるように、地形に関するクイズを出題したり、日本の川と外国の川の流れの違いがわかる資料を提示したりする。	◇国土の地形の様子についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
追 究 す る	2	○我が国の様々な山地や平地、川などの位置や名称を調べ、白地図にまとめる。	○我が国の様々な山地や平地、川などの位置や名称を具体的に調べられるように、それぞれの観点についてまとめる白地図を用意する。	◇国土の地形の特色について、地図やその他の資料を用いて情報を集め、白地図にまとめている。 <学習シート①>
ま と め る ・ 生 か す	1	○国土の地形について調べて分かったことをまとめ、特徴的な地形とその場所を当てるクイズを行う。	○国土の地形の特色についてまとめられるように、山地、平地、川、火山の視点を提示する。	◇多くの火山があり、山がちで平野が少なく、海に囲まれた大小の島からなる国土の地形の特色を記述している。 <学習シート③>
【備考】 ・第1時ではグーグルアースを使用できれば、国土を概観する活動を入れるのもよい。または、ヨハネスデレーケが日本の河川を見て発した言葉「これは川じゃない、滝だ！」から学習問題を掴んでもよい。 ・山地や平地、川、火山等の名称は教科書に記載されている範囲で扱うとよい。 ・NHK for school 動画「日本の地形」を見るとよい。その際、山地や平地の分布に着目させるとよい。				

単元	I - 3 低い土地の暮らし ー岐阜県海津市ー			5月(5時間)
目標	低い土地に住む人々の生活について、写真や統計、地図等で調べ、地形などの自然条件と関連付けて、その特色を考えることを通して、人々が自然環境に適応しながら工夫して生活していることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 海津市に住む人々は、自然環境に適応しながら、生活や産業を工夫していることを理解している。 海津市の地形や生活や産業に関わる資料などを活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 低い土地に住む人々の生活について、学習問題を見いだしたり、産業と地形などの自然条件とを関連付けて、説明している。 (③主体的態度) 海津市に住む人々の生活や産業について、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○海津市の地形に関わる資料や様子が分かる写真などから、低い土地に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 学習問題例 川に囲まれた低い土地で、海津市の人々の生活はどのように続いてきたのだろう ○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <調べる観点> ・水害対策について ・産業について	○海津市の地形と人々の生活の様子についての気付きから、疑問点や調べたいことを考えられるように、川に囲まれ、海面より土地が低いことが分かる資料や、海津市で起きた洪水の様子や建物より高い位置を走る自動車の写真などを提示する。 ○追究の見通しをもてるように、昔と現在の川の流れ、水屋や大型排水機、農業や観光の様子を示す写真を提示する。	◇資料を基にして、海津市に住む人々の生活の様子についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート③> ◇資料を基にして、海津市に住む人々の生活や産業の工夫について予想を記述している。 <学習シート③>
	追究する	I ○海津市の水害対策の歴史と現在の取組について調べる。 I ○海津市における産業について調べる。	○水害防止の取組と成果を関連付けられるように、水害発生件数の移り変わりのグラフや120年ほど前の川の流れの地図を用意する。 ○海津市の地形と産業を関連付けて考えられるように、海津市の地図上に観光施設を貼付した資料を用意する。	◇輪中に住む人々が治水や水防訓練などをして、水害被害を減らしていることを記述している。 <学習シート①> ○輪中では平らな地形と豊富な水を生かして、農業や観光業を行っていることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	I ○観点に沿って調べてきたことを基に、学習問題の答えを話し合う。 I ○単元を通して追究してきたことや自分たちの生活経験を基に、特色ある地域の人々の生活について話し合ったり、気付いたことを感想にまとめたりする。 ○まとめのテストをする	○人々が地形に適応しながら工夫して生活していることが理解できるように、海津市の人々の生活の工夫を、小集団で図に整理しながら、話し合う時間を確保する。 ○日本の他地域に住む人々も同じように、特色ある自然環境に適応しながら工夫して生活していることに着目できるように、自分たちの知っている特色ある他地域の生活について話し合う活動を設定する。	◇追究してきたことを基に、海津市に住む人々の生活が続いてきた理由を考えるために大切な言葉を選び、表している。 <学習シート①> ◇様々な特色のある地域の人々の生活や産業の様子と自然環境との関連を考え、表している。 <学習シート②>	
【備考】 ・「海津市観光ガイドブック」などの資料は、海津市のホームページからダウンロードできる。 ・NHK for school 動画「デレーケの治水工事」を第2時に見せるとよい。				

単元	I - 4 日本の気候の特色			5月(4時間)
目標	梅雨・台風・季節風が気候に及ぼす影響や、気候と人々の暮らしの関わりを考え、日本各地の気候の特色を理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 我が国の気候には四季の変化が見られ、国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なること、梅雨や台風、季節風は、我が国の気候を特色付けている現象であり、人々の暮らしに大きな影響を及ぼしているなどを基に、我が国の自然環境について理解している。 立体模型や統計、写真などの資料を用いて、日本の各地域の気候の特色や季節風の影響などについて情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 日本各地の気候について学習問題を見いだしたり、気候と人々の暮らしとの関連を考えたりして、説明している。</p> <p>(③主体的態度) 日本各地の気候の特色とそれぞれの地域の人々の暮らしとの関連について関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○日本の気候に関する資料から、日本の気候について分かったことや疑問点を整理して、問題意識をもつ。</p> <p>学習問題例</p> <p>日本の気候にはどのような特色が見られるのだろう</p>	○日本各地の気候の特色や、気候と人々の暮らしとの関連について、分かったことや疑問点をもてるように、同じ場所の四季の変化や異なる場所の2月の様子を示す写真や桜の咲く時期を示した日本列島の地図を提示する。	◇日本各地の気候の特色や、気候と人々の暮らしとの関連について、分かったことや疑問点を記述している。 <学習シート②>
	1	○日本の気候を特徴付けている梅雨や台風、季節風について調べる。	○梅雨や台風、季節風の特徴について調べられるように、梅雨や台風の時期の写真や冬の新潟市と前橋市の写真を用意する。	◇梅雨や台風、季節風の特色について意欲的に調べている。 <学習シート①>
追究する	1	○日本の地域ごとの気候の違いについて読み取る。	○日本地図や雨温図などの資料から、日本の各地域の気候の特色や季節風の影響を読み取れるように、雨温図の読み方を説明するとともに、各地の雨温図を比較して、地域ごとの気候の違いとその理由を話し合う活動を設定する。	◇日本地図や雨温図などの資料から、日本の各地域の気候の特色や季節風の影響を読み取って、地域ごとの気候の違いを記述している。 <学習シート①>
まとめかす	1	○日本の気候の特色について、学習問題の答えを話し合う。	○我が国の気候は、人々の暮らしに大きな影響を及ぼしていることをまとめられるように、既習の気候に関する言葉を用いて日本の気候の特色をまとめる時間を十分確保する。	◇我が国の気候は、人々の暮らしに大きな影響を及ぼしていることを記述している。 <学習シート①②③>
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四季」「気候」「気温」「降水量」「季節風」などの言葉をおさえ、使えるようにする。 ・カリ管に日本海側で雪が多く降る理由についての動画が保存してある。第2時に見せるとよい。 ・NHK for school 動画「日本の気候」を第3時に見せるとよい。 				

単元	I - 5 あたたかい土地の暮らし —沖縄県—			6月(7時間)
目標	あたたかい土地に住む人々の生活について、地図や統計などの資料で調べ、他地域と比較したり、気候と関連付けたりすることを通して、沖縄県に住む人々はあたたかい気候に合わせたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを理解している。 沖縄県の気候や生活や産業に関わる資料から必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 沖縄県に住む人々の生活について、あたたかい気候とそこに住む人々の生活とを関連付けて、その工夫を表現している。 (③主体的態度) 沖縄島に住む人々の生活やあたたかい気候について興味をもち、学習問題や学習計画を立てたり、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを考え、学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題例 沖縄県に住む人々の生活にはどのような工夫があるのだろうか </div> ○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <調べる観点> ・生活の様子 ・農業の様子 ・観光業の様子	○沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを考えられるように、沖縄県の地形を示す地図や雨温図、特産物、観光スポット、台風が沖縄県に上陸した際の様子、沖縄県の風景等の写真を掲示する。 ○沖縄県に住む人々の生活の工夫について予想できるように、沖縄県と群馬県の家の外観、主な農作物やその栽培風景、観光スポット等の写真を提示する。	◇沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたことを記述している。 <学習シート②> ◇ 沖縄県に住む人々の生活の工夫について予想したことを記述している。 <学習シート③>
	追究する	I ○沖縄県に住む人々の生活の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。 I ○沖縄県の農業の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。について調べる。 I ○沖縄県の観光業の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。	○沖縄県に住む人々の生活の様子を見いだせるように、沖縄県と群馬県の雨温図、上陸する台風の数を記録したグラフ、家の写真や服装の目安を示した表を提示する。 ○沖縄県と群馬県の農業の様子の違いから、沖縄県の農業の様子の共通点を見いだせるように沖縄県と群馬県の主な農作物の表や作付面積、生産額、菊の出荷量を示すグラフから読み取ったことを基に、沖縄県と群馬県との農業の相違点を比較する機会を設定する。 ○沖縄県の観光業の様子をあたたかい気候や自然環境と観光業の推進との因果関係から考えられるように、沖縄県の主な観光スポット、観光客数の変化や沖縄県観光の目的を表したグラフ、赤土が流れ込んだ海岸の写真を提示する。	◇沖縄県の人々は、防風林や石垣を設置したり、風通しのよい家造りをするなど、あたたかい気候に合わせたり、台風に備えたりして生活していることを記述している。 <学習シート①> ◇沖縄県では、さとうきびやパイナップル、菊などの農作物をあたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりして栽培していることを記述している。 <学習シート①> ◇ 沖縄県では、あたたかい気候を生かして観光業を推進するとともに、自然環境を大切にしながら持続可能な開発を推進していることを記述している。 <学習シート②>
まとめる	I	○沖縄県に住む人々の生活の工夫について学習問題の答えを出す。	○沖縄県に住む人々の生活の工夫を総合して考えられるように、子どもたちが事前に考えた沖縄県の人々の生活の工夫を整理して、共通点を見いだす学習シートを提示する。	◇ 沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを記述している。 <学習シート①>

・ 生 か す	I	○大単元を通して追究してきたことや自分たちの生活経験を基に、特色ある地域の人々の生活について話し合ったり、ポスターにまとめたりする。	○自分たちの生活と特色ある地域の人々の生活や産業の様子をまとめられるように、特色を端的に表現するキャッチコピーを入れる枠のある学習シートを用意する。	◇様々な特色のある地域の人々の生活や産業の様子と自然環境との関わりや自分たちの生活との違いをポスターで表現している。 <学習シート②>
	I	○まとめのテストをする。		

【備考】

- ・ 沖縄子どもランドウェブページ <http://www.pref.okinawa.jp/kodomo/>
- ・ サトウキビの木や沖縄島の名産品などを準備して提示できるとよい。カリ管室に「シーサー」「かりゆし」がある。
- ・ NHK for school 動画「沖縄をおそう台風」を第1時に見せるとよい。
- ・ NHK for school 動画「気候を生かした沖縄の農産物」を第3時に見せるとよい。
- ・ NHK for school 動画「沖縄の環境問題」を第5時に見せるとよい。
- ・ まとめテストはI-4と合わせて行う。

大単元	Ⅱ わたしたちの生活と食料生産	6・7・8・9月(24時間)
目標	我が国の食料生産の特色を理解し、我が国の食料生産に関わる産業の発展に関心をもつ。	

単元	Ⅱ-1 くらしを支える食料生産	6月(3時間)
目標	我が国の食料生産の様子と国民生活との関わりについて考え、国内外からの食料によって自分たちの生活が成り立っていることを理解する。	

評価規準	<p>(①知・技) 我が国では様々な食料を生産していること、それぞれが土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることなどを基に、我が国の食料生産の概要について理解している。 我が国の農業や水産業における食料生産について、地図帳や地球儀を用いたり、国内の主な生産地や輸入相手国の位置、主な漁港などの資料を使ったりして調べ、図表などにまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の食料生産について、学習問題を見いだしたり、食料生産が国民生活に果たす役割を考えたりして、説明している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の食料生産について関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。</p>	
------	---	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○自分たちが日常食べている食料がどこから来るのかについての疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 学習問題例 わたしたちが食べている食料はどこから送られてくるのだろう	○日常食べている食料について疑問点や調べたいことを考えられるように、一食分の食事のメニューを提示し、県産の以外の食料を無くしたときのメニューの量を予想する活動を設定する。	◇食料が作られている場所についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
追究する ・ま生とかめする	家庭 2	○自分の家の近くのスーパーマーケットなどに行き、箱やラベルから様々な食品の産地を調べる。 ○米、果物、畜産物、野菜の産地を白地図にまとめる。	○食品の産地を記録できるように、米、野菜、果物、畜産物の観点で記録できる学習プリントを用意する。 ○産地と地形や気候とを関連付けられるように、農作物を産地ごとに色分けできる白地図と地形図、雨温図を用意する。	◇農作物は、地形や気候に合わせて作られ、国内のいろいろな場所や外国から送られてくることで、自分たちの食生活を支えていることを記述している。 <学習シート①②③>

単元	Ⅱ－2 米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野—			6・7月(8時間)
目標	我が国の食糧生産としての米作り農業について，地図帳や各種統計資料で調べ，米作りに関わる人々の工夫や努力，働きを考え，米作りに関わる人々は，生産性や品質を高めるよう努力したり，輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な食料を消費地に届けるなどして食糧生産を支えていることを理解できるようにする。			
評価規準	<p>(①知・技) 米作りに関わる人々は，生産性や品質を高めるよう努力したり，輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な食料を消費地に届けるなどして食糧生産を支えていることを理解している。</p> <p>地図や統計，写真，コンピュータなどを使って，食料生産に関わる人々の工夫や努力を調べて，図表にまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 米作りについて，学習問題を見いだしたり，米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考えたりして，説明している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の米づくりの様子について関心をもち，予想や学習計画を考え，意欲的に追究しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○庄内平野の米づくりに関わる資料から，疑問点や調べたいことを考え，問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 米づくりのさかんな庄内平野では，どのようにして品質の良い米を生産しているのだろう </div>	○庄内平野の米づくりに関する疑問点や調べたいことを考えられるように，地方別の米の生産量，東北地方の県別の米の生産量，東北地方の県別の作付け面積などの資料を提示する。	◇資料を基に，庄内平野で米の生産量が高いことに関心をもち，疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	I	○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <調べる観点> ・地形や気候について ・米のつくり方について ・支える仕事について(保管，輸送，販売)	○追究の見通しがもてるように，山形県の地形図や庄内平野の米づくりの写真，庄内米の出荷先などの資料を提示する。	◇資料を基に学習問題について予想したことを，記述している。 <学習シート③>
追究する	I	○庄内平野の自然条件と米作りの関係を調べる。	○庄内平野の自然条件と米づくりに適した条件を関連付けられるように，庄内平野の地形図や雨温図と稲の生育条件の資料を用意する。	◇庄内平野では米づくりに適した自然環境を生かしていることを記述している。 <学習シート①>
	I	○米づくりの仕方について調べる。	○米作りの方法の過去と現在を比較できるように，約60年前の米づくりの様子の写真を用意する。	◇米作り農家では，機械化や耕地整理などで効率的に作業し，生産性を高めていることを記述している。 <学習シート①>
	I	○米づくりを支える仕事について調べる。	○米作りと消費者の生活を関連付けられるように，米作りの費用が分かるグラフや庄内平野から全国に届くまでの地図を用意する。	◇様々な立場の人々が農家を支援し，品質の良い状態で消費者の下に届けられるようにしていることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生	I	○学習問題の答えを出す。	○庄内平野の米作りの工夫について，自然条件と社会条件とを関連付けて考えられるように，それぞれの立場の取組を整理する図を用意する。	◇米の生産にかかわる人々は，自然条件を生かしたり，生産の工程や輸送方法を工夫したりして，安全でおいしい米を消費者に届けるために努力していることを記述している。<学習シート①②③>
	I	○これからの米づくりのあり方や問題点，自分たちの生活との関わりについて話し合う。	○減っている米の消費量を増やすための取組を実感して捉えられるように，開発された米粉製品を提示する。	◇米づくりについて，複数の観点を関連させて問題点を捉え，記述している。 <学習シート③>

か す		○まとめのテストをする。		
--------	--	--------------	--	--

【備考】

- ・学年通信などでお米の銘柄や産地について調べる旨を保護者に連絡するとよい。
- ・減反について指導する際は、・NHK for school 動画「減反」を見せるとよい。また、カリ管室にある30年前の社会の教科書同単元の写真を比較すると、その様子がよくわかる。
- ・JA全農庄内ホームページ <http://www.shonaimai.or.jp/>
- ・次の用語について、適宜指導する。 ・生産性 ・品種改良 ・費用 ・転作

単元	II-3 水産業のさかんな地域 —鹿児島県—		8・9月(9時間)	
目標	我が国の水産業について、地図帳や各種統計資料で調べ、水産業に関わる人々の工夫や努力、働きを考え、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な食料を消費地に届けるなどして食糧生産を支えていることを理解できるようにする。			
評価規準	(①知・技) 水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な食料を消費地に届けるなどして食糧生産を支えていることを理解している。 (②思・判・表) 我が国の水産業について、学習問題を見いだしたり、水産業が盛んなことを自然環境や社会的な条件と人々の工夫や努力とを関連させて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 我が国の水産業の様子について関心をもち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I I	○日本の水産業を概観する。 ○水産業に関わる資料から疑問点を考え、問題意識をもち、調べる計画を立てる。 学習問題例 鹿児島の水産業に関わる人々は、どのようにして魚をとり、消費者のもとに届けているのだろう <調べる観点> ・魚のとり方 ・魚の運び方 ・つくり育てる漁業 ・水産物の加工 ・水産業の課題	○水産業と自分たちの生活との関わりの深さに気付けるように、魚売り場や水産加工品の写真や我が国の水産物の消費量のグラフを用意する。 ○水産業について疑問点を考えられるように、産地調べの結果や魚介類の国別年間消費量、主な漁港の水揚げなどの資料を用意する。	◇日本近海は豊富な水産資源に恵まれた漁場であり、水産物は国民の重要な食料であることを記述している。 <学習シート①> ◇日本の水産業についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート③>
追究する	I I I I I	○鹿児島での魚のとり方について調べる。 ○水揚げされた魚が食卓へ届くまでの流れを調べる。 ○つくり育てる漁業の様子について調べる。 ○水産物の加工について調べる。 ○日本の水産業の課題について調べる。	○複数の船が協力していることを調べられるように、巻き網漁の様子を表す写真や、それぞれの役割を書き込める図を用意する。 ○水産業と消費者の生活とを関連付けられるように、水産物が消費者の下に届くまでの仕事を順に整理するチャート図を用意する。 ○つくり育てる漁業の必要性を、「資源」という面から捉えられるように、過去30年間の水揚げ量の推移を表すグラフを提示する。 ○水産物の加工が多く作業によってなされていることを調べられるように、工程を整理する図を用意する。 ○漁獲量の減少と諸外国との関係とを関連付けられるように、漁業別の漁獲量や輸入量の推移を表すグラフを用意する。	◇沖合漁業では機械を用いたり、複数の船が協力したりして効率的に魚をとれるようにしていることを記述している。 <学習シート①> ◇様々な人々が関わり、新鮮なうちにすぐに消費者へ届けることで資源を有効活用したり、商品をブランド化したりしていることを記述している。 <学習シート①> ◇つくり育てる漁業に関わる人々は、水産資源を限りあるものと捉え、守っていることを記述している。 <学習シート①> ◇水産物を加工品にすることで、水産物を無駄なく消費したり、多くの消費者に届けたりしていることを記述している。 <学習シート①> ◇日本では、200海里水域の影響による遠洋漁業や沖合漁業の生産量の減少と漁業で働く人々の減少との関わりを記述している。 <学習シート②>
まとめ・生めかす	I I	○水産業について学習問題の答えを出す。 ○まとめのテストをする。	○水産業に従事する人々の様々な努力や工夫の意味を考えられるように、これまで調べてきたことと自分たちの食生活とのつながりを話し合う活動を設定する。	◇我が国の水産業は、自然条件を生かして営まれており、水産業に関わる人々は、持続可能な水産業となるよう工夫し、食料生産を支えていることを記述している。 <学習シート①②③>

【備考】

- ・「持続可能な開発」を指導の中心に据えるとよい。「追究する」過程、
- ①効率的に魚をとるが、網の大きさを以前より大きくし、小さいものはとらない ・NHK for school 動画「魚のとりすぎを防ぐ」を見せるとよい。
- ②冷凍冷蔵，素早い輸送で魚を腐らせない
- ③資源の保護，増産
- ④水産資源を無駄なく使う などに触れること。
- ・家庭調査の際には，夏期休業前や2学期始業式の日に学年通信などで活動内容と趣旨を各家庭に連絡し，協力していただけるようお願いする。
- ・追究する過程の第2時において，価格について扱う。出荷先との距離や関わる人々の数などの点から価格が決まることや，変動することがあることを提示する。また，米作りや3年時のきゅうりづくりの学習との共通点を問いかけるとよい。
- ・本単元は実習単元として扱う。

単元	Ⅱ－4 これからの食料生産とわたしたち			9月(4時間)
目標	国内の食料生産の様子と食料輸入の様子との関わりについて考え、食料生産に関わる問題を理解する。			
評価 規準	<p>(①知・技) 我が国の食料生産の現状と様々な問題を理解する。 食料生産に関わる食糧自給率のグラフや土地利用図等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の食料生産について、学習問題を見いだしたり、発展と輸入の増大との関係性やそれらに見られる長所や短所について考えたりして、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の食料生産の発展について関心を持ち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○現在の食料生産の課題について話し合い、問題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習問題例</p> <p>日本の食料自給率を今後上げるべきか</p> </div>	○食料自給率について疑問や調べたいことを見いだせるように、諸外国と我が国の食料自給率の推移を表すグラフを用意する。	◇資料を基に、食料生産の課題についての疑問点や調べたいことを記述している。<学習シート②>
	1	○輸入量増大の問題について調べる。	○食生活の変化と輸入量の変化を関連付けられるように、一人1日あたりの食べ物の割合の変化と輸入量の変化を表すグラフを並列に提示した学習シートを用意する。	◇食生活が西洋風に変化したことで、我が国の食生活は多くを輸入にたよるようになってきていることについて記述している。<学習シート①>
追究する	1	○食の安心・安全の問題とその対策について調べる。	○食の安心・安全について、複数の視点で調べられるように、「表示」「輸入食品」に関する対策を整理する学習シートを用意する。	◇食の安心・安全に向けて、生産に関する表示や地産地消などの取組が行われていることを記述している。<学習シート①>
・ま 生と かめ する	1	○学習問題の答えを出し、我が国のこれからの食料生産に必要なことについて話し合う。	○今後の食料自給率について複数の資料を関連付けて考えられるように、「国内の食料生産の様子」と「食料輸入の様子」を整理する学習シートを用意する。	◇今後の食料自給率について複数の資料を根拠として自らの考えを記述している。<学習シート①②③>
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追究する過程の第1時では、「食品ロス」の問題についても扱うこと。また、第2時では「フードマイレージ」、「地産地消」についても扱う。 ・本単元で扱う食料自給率はカロリーベースを表す。指導に当たっては・NHK for school 動画「日本の食料自給率」「フードアクションジャパン」を見せるとよい。 ・農林水産省発行資料「ジュニア農林水産白書」、JAバンク教材本「農業とわたしたちの暮らし」等を活用することもできる。(申請する際は社会科部に相談する。) 				

大単元	Ⅲ わたしたちの生活と工業生産	(21時間)
目標	我が国の工業生産の様子を理解し、工業生産の発展に関心をもつ。	

単元	Ⅲ-1 暮らしを支える工業生産	10月(4時間)
----	-----------------	----------

目標	我が国の工業生産について地図帳や各種資料で調べ、工業生産が国民生活果たす役割を考え、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業が盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。	
----	--	--

評価規準	(①知・技) 我が国の工業生産について、様々な工業生産が行われていることや、国土には工業が盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 我が国の工業に関わる地図や統計、文章等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 我が国の工業について、学習問題を見いだしたり、工業地帯や工業地域の分布と自然的・社会的条件を関連させて考えたりし、表現している。 (③主体的態度) 我が国の工業生産の様子や工業地帯や工業地域の分布の背景について関心を持ち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。	
------	---	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○我が国の工業の分布について問題意識をもち、調べる計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 日本の工業は、どこで、どのようなものを生産しているのだろう </div> <調べる観点> ・生産しているもの ・工業地域の分布	○自分たちの生活が多くの工業製品の恩恵を受けていることに気付けるように、使用用途を基に身の回りにある工業製品を分類し、白地図に書き込む活動を設定する。	◇日本の工業についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
追究する	1	○日本の主な工業製品について調べる。	○過去と現在の工業生産を比較できるように、各年代ごとの工業生産額の割合を示すグラフを用意する。	◇我が国の工業は中小工場と大工場で行われており、軽工業から機械工業中心に推移してきたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○日本の工業地域の分布について調べる。	○交通や地形と工業地域が海沿いに集中していることを関連付けて考えられるように、高速道路網や港湾の位置を示した地図や地形図、工業地域周辺の港湾の様子を示した写真資料などを提示する。	◇工業地帯や工業地域が海沿いに集中している理由を原材料の移動や工場の立地に必要な交通網や平地などの点から記述している。 <学習シート②>
・まとめ	1	○学習問題の答えを出す。	○我が国の工業生産や工業地域の特色をまとめられるように、工業の盛んな地域の分布と主な工業製品について整理できる白地図を用意する。	◇我が国の工業地域の分布が、我が国の高い技術力を生かした機械工業などの加工型貿易によることを記述している。 <学習シート①②③>

【備考】

- ・学年通信等で身近にある工業製品を調べたり、近所にある工場を探したりする旨を通知するとよい。
- ・「太平洋ベルト」については位置だけでなく、周囲の都市、人口、地形、気候の分布、外国との関係と関連付けて捉えられるようにするとよい。その際、・NHK for school 動画「工業が盛んな地域の特徴」「日本の工業地帯」を見せるとよい。

単元	Ⅲ－２ 自動車をつくる工業		10・11月(8時間)
目標	我が国の自動車工業について見学や各種資料で調べ、自動車工業に関わる人々の工夫や努力と国民生活との関わりを考え、自動車工業の生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産していることを理解する。		
評価規準	(①知・技) 自動車づくりの仕事に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産していることを理解している。 自動車工業に関わる写真、統計などの基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 自動車工業について、学習問題を見いだしたり、自動車工業に関わる人々の工夫や努力とそれらが国民生活を支えていることとを関連させて考えたりし、表現している。 (③主体的態度) 自動車工業の様子について関心をもち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
	家庭	○家の人に乗っている車の種類や購入時に大切にしたことについて聞き取り調査をする。	○顧客が購入する自動車に求めていることを理解できるように、性能や環境への配慮といった具体的に選んだ理由を調べられる学習プリントを用意する。
つかむ	1	○聞き取り調査の結果を話し合い、資料を基に自動車工業に関わる疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 学習問題例 私たちの生活を支える自動車は、どのようにつくれ、届けられているのだろう	○たくさんの部品からなる多様な自動車が生産できる理由に関する疑問点や調べたいことを考えられるように、教師の自動車を見学する場を設定し、日本で生産されている自動車の台数や種類、自動車一台の部品の数、生産ラインの様子、自動車積出港の資料を提示する。
	1	○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <調べる観点> ・自動車工場の工夫 ・運輸の工夫 ・自動車開発	○追究への見通しがもてるように、自動車を生産する工場の様子、世界に広がる工場の図、自動車積み出し港の様子、車椅子のまま乗れる自動車の写真などの資料を提示する。
追究する	2	○自動車工場での調査・見学や図書資料などにより、我が国の自動車生産の工夫を調べる。 ※富士重工業現場学習(2時間)	○自動車生産の工夫や努力を具体的に記述できるように、観点ごとに自動車工業に関わる人々の工夫や努力を記述できる学習プリントを用意する。
	1	○自動車工場の工夫についてまとめる。	○関連工場と組み立て工場の役割を関連付けて考えられるように、自動車ができるまでの流れとそこでの工夫を整理する図を用意する。
	1	○運輸の工夫について調べる。	○輸出と現地生産を関連付けられるように、自動車の輸出先と海外生産台数の変化を表すグラフを用意する。
	1	○自動車開発について調べる。	○人々の願いと自動車開発を関連付けられるように、最新型自動車と人々の願いを結びつけて整理する学習シートを用意する。
・まとめ	1	○学習問題の答えを出す。	○自動車生産に従事する人々の工夫や努力と国民生活との関わりを見いだせるように、我が国の自動車工業が果たす役割について話し合う活動を設定する。
			◇資料や既習経験を基にして、我が国の自動車工業の様子に関心をもち、疑問点や調べたいことを記述している。<学習シート②> ◇既習経験や自動車産業に関する資料を基に、生産過程、研究開発、運輸について予想し、記述している。<学習シート③> ◇現場学習や図書資料等を活用して、我が国の自動車産業の様子について観点に沿って調べ、記述している。<学習プリント①> ◇自動車は関連工場と組み立て工場が連携し、分業しながら複数の部品を合わせて作られていることを記述している。<学習シート①> ◇自動車は、キャリアカーや船で世界中に輸出されており、現地生産による技術の輸出もさかんになっていることを記述している。<学習シート①> ◇自動車づくりは人々のニーズを叶えられるように行われ、利益をあげていることを記述している。<学習シート①> ◇自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するようさまざまな工夫や努力をして、工業を支えていることを記述している。<学習シート①②③>

【備考】

- ・現場学習については、富士重工の見学を行う。(ただし、関連工場については、工場側の受け入れ体制が整わないので、現場学習の際に周辺地域をバスで巡回して見学できるよう計画を立てることが望ましい。) 見学予約済み11月13日(月) 10:00~
- ・R4年度の現場学習は、富士重工側の感染症対策のため、プリントの持ち込みはできなかった。見学に際しては、事前に確認をする。
- ・現場学習ができない場合は、NHK for school 動画「自動車ができるまで」を見せるとよい。
- ・自動車工業に関連した仕事をしている人の割合から、自動車工業が日本の中心的な産業であることを捉えられるようにする。

単元	Ⅲ－3 工業生産を支える運輸と貿易		11月(5時間)
目標	我が国の輸送と貿易について地図帳や各種資料で調べ、輸送と貿易が果たす役割を考え、輸送や貿易は原材料の確保や製品の販売などにおいて工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。		
評価 規準	(①知・技) 我が国の輸送と貿易について、輸送や貿易は原材料の確保や製品の販売などにおいて工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 我が国の輸送と貿易について、地図や統計、文章等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 我が国の輸送と貿易について、学習問題を見いだしたり、その特色を考えたりして表現している。 (③主体的態度) 我が国の輸送と貿易について、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○我が国の輸送と貿易について問題意識をもち、調べる計画を立てる。 学習問題例 輸送と貿易は、日本の工業生産をどのように支えているのだろう <調べる内容> ・輸送の方法 ・輸出の特色 ・輸入の特色	○日本の輸送と貿易について疑問や調べたいことを考えられるように、日本の主な輸出入品や相手国の資料を用意する。
			◇日本の輸送と貿易についての疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
追究する	1	○輸送の方法について調べる。	○輸送する方法を分類できるように、「時間」「量」「費用」の視点で整理する学習シートを用意する。
	1	○日本の輸入の特色について調べる。	○日本の輸入について過去と現在を比較できるように、輸入品の取扱額の割合の推移を表すグラフを用意する。
	1	○日本の輸出の特色について調べる。	○日本の輸出の特色を、輸入と関連付けて考えられるように、輸出入品の取扱額の割合を表すグラフを並列で提示し、因果関係を整理する学習シートを用意する。
			◇製品ごとに最も適した方法で輸送することで工業生産を支えていることを記述している。 <学習シート①> ◇日本は、工業生産に必要な燃料や原料だけでなく、国内ではつくれないものや国内よりも安くつくれる製品を輸入していることを記述している。 <学習シート①> ◇輸入した原料をもとに、高い技術によって生産した製品を海外に輸出していることを記述している。 <学習シート①>
・ま 生と かめ する	1	○学習問題の答えを出す。	○輸送と貿易の工業生産に対する影響について考えられるように、海運が止まった場合の工業生産への影響を話し合う活動を設定する。
			◇運輸や貿易は、日本の工業生産に必要な原材料を確保したり工業製品を各地に届けたりするなど、工業生産にとって重要な役割を果たしていることを記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・再生可能エネルギーの開発について、追究の第2時で指導する。 ・NHK for school 動画「日本の貿易」を第3, 4時に見せるとよい。			

単元	Ⅲ－４ これからの工業生産とわたしたち			11月(4時間)
目標	我が国の工業や中小工場の課題について地図帳や各種資料で調べ、我が国の工業は高齢化や資源不足という課題を優れた技術で克服しようとしていることを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 日本の工業生産は、資源の確保や人口減少などの課題があるなか、高い技術や伝統的な技術を生かしたり工場どうしが技術をもち寄って製品をつくったりするなど、国内外で評価される取り組みを行って発展していこうとしていることを理解している。 我が国の工業や中小工場の課題について写真、統計などの基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の工業や中小工場の課題について、学習問題を見いだしたり、その特色を考えたりして、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の工業や中小工場の課題について関心をもち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○資料を基に中小工場に関わる疑問点や調べたいことを考え、課題意識をもち、学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>学習問題例 中小工場での生産にたずさわる人々は、どのような努力によって日本の工業を支えているのだろう</p> </div>	○中小工場の働きに関する疑問点や調べたいことを考えられるように、工業生産額を閉める大工場と中小工場の割合や鯖江市の眼鏡づくりや大田区のへらしぼりに関する資料を提示する。	◇資料や既習経験を基にして、中小工場の働きに関心をもち、疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○中小工場について調べる。	○中小工場の特色の共通点を見いだせるように、鯖江市と大田区の中小工場の製品や工程を整理する二次元表を用意する。	◇中小工場では、高い技術や昔から伝わる技術を用いて、国際的にも評価される製品を作って日本の工業生産を支えていることいることを記述している。 <学習シート①>
追究する・まとめる・生かす	1	○日本の工業生産の課題を知り、これからの工業生産に必要なことを話し合う。	○これからの工業生産に必要なことを見いだせるように、製造業で働く人口の変化や海外進出する日本企業の数の変化のグラフを用意する。	◇これからの工業生産に必要なだと思ふことを、既習内容を根拠として記述している。 <学習シート①②③>
	1	○まとめのテストをする。		
<p>【備考】 ・テストは「Ⅲ－1～4」を合わせて実施する。</p>				

大単元	IV わたしたちの生活と情報	(15時間)
目標	情報産業と国民生活との関連, 国民生活の向上や産業の発展に果たす役割, 情報の有効活用の大切さを理解し, 情報産業に関心をもつ。	

単元	IV-1 情報産業とわたしたちの暮らし		12月(6時間)	
目標	情報産業の働きと国民生活との関連を考え, 情報産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 放送局は, 多種多様な情報を収集し, 選択・加工して番組を制作したり, 国民生活に大きな影響を及ぼしたりすることを理解する。 放送局が行っているニュース番組の作り方, 伝え方や情報があたえる影響に関わる資料から必要な情報を読み取ったり, まとめていたりしている。 (②思・判・表) 放送局の働きと国民生活とを関連付けて考えたことを表現している。 (③主体的態度) 放送局の働きやその影響について興味をもち, 学習問題や学習計画を立てたり, 予想を考えたりして, 主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○放送局の働きやその影響についての疑問点や調べたいことを考え, 学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題例 放送局の人々はどのような工夫や努力をして, わたしたちに情報を伝えているのか </div>	○ニュース番組の情報伝達の速さや正確さの理由を考えられるように, 東日本大震災の発生から各地での速報までを時系列で表した資料と放送場所を示した地図を提示する。 ○放送局の働きやその影響について予想できるように, 国内外の支局の位置が分かる地図や放送局での会議, 番組の編集, 放送の様子, 報道があたえる影響などが分かる資料を提示する。	◇放送局の働きとその影響についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇放送局の働きやその影響について予想したことを記述している。 <学習シート③>
	1	○放送局の働きやその影響についての疑問点や調べたいことを基に, 学習計画を立てる。 <調べる観点> ・情報の集め方 ・情報の伝え方 ・情報があたえる影響		
追究する	1	○情報の集め方について調べ, 国民生活との関わりについて話し合う。	○放送局が行っている情報の集め方の工夫や努力と適切に情報を集めることの因果関係を捉えられるように, 情報収集や編集会議, 取材の作業をしている様子の写真や情報を集める流れを示す資料を提示する。	◇放送局は, 視聴者のことを考えて, 多くの人々と協力しながら正確な情報を収集していることを記述している。 <学習シート①>
	1	○情報の伝え方について調べ, 国民生活との関わりについて話し合う。	○放送局が行っている情報の伝え方の工夫や努力と適切に情報を伝えることの因果関係を捉えられるように, 映像編集者やアナウンサー, ニュース番組編集長の話や情報を伝える流れを示す資料を提示する。	◇放送局は, 視聴者に合わせて伝える内容や順番を決めていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○情報があたえる影響について調べ, 国民生活との関わりについて話し合う。	○情報産業と国民生活とを関連付けられるように, テレビのニュースが原因で起こった報道被害の事例や, 天気予報や交通情報など日常生活で活用している情報の事例が分かる資料を提示する。	◇情報は報道被害や社会混乱を起こすきっかけになったり, 人々の行動を決める要因になったりするなど, 国民生活に大きな影響をあたえていることを記述している。 <学習シート②>
・ま生とかめする	1	○これまで学習してきたことを振り返り, 放送局の働きと情報産業と自分たちの暮らしとの関わりについてまとめ, 話し合う。	○放送局の工夫や努力を総合して考えられるように, 情報があたえる影響と国民生活とを関連付けながらまとめる学習シートを用意する。	◇放送局は, 正確な情報を集めたり, 伝えたりできるように工夫や努力をしていることや情報は人々の生活に大きな影響をあたえていることを記述している。 <学習シート①②③>

【備考】
 ・NHK前橋より資料とDVD等をいただける。(5学年で申請する。) TEL: 027-251-1711 ・テストは「IV-2」「IV-3」とともに実施する。
 ・課題をつかむ過程で使用するニュース番組については, 新しいニュースの方が子どもが課題をもつ際に実感をもつことができるので各年度ごとに新たなものを準備するとよい。

単元	IV-2 情報を生かす産業			1月(5時間)
目標	我が国の産業と情報の関わりについて、映像や新聞、統計などの資料で調べ、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、大量の情報や情報通信技術の活用は、産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。			
評価 規準	(①知・技) 産業と情報の関わりについて、大量の情報や情報通信技術の活用は、産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する 産業と情報の関わりについて、身近にある様々な情報に関わる基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 産業と情報の関わりについて、学習問題を見いだしたり、情報と自分の生活に与える影響とを関連付けて考えたりし、表現している。 (③主体的態度) 産業と情報の関わりについて関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つか お	1	○産業と情報の関わりについて、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもつ。 学習問題例 コンビニエンスストアでは、どのように情報を活用しているのだろう <調べる観点> ・販売 ・輸送 ・サービス	○産業と情報の関わりについて学習の見通しをもてるように、農業や工業の学習内容や電子マネーを使った経験などを話し合う活動を設定する。	◇コンビニエンスストアにおける情報活用方法についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○販売における情報活用について調べる。	○POSレジスターと昔のレジスターの情報活用機能を比較できるように、それぞれの情報活用方法を整理する学習シートを用意する。	◇商品の販売に情報を生かしたり、大量の情報を活用して商品の開発したりすることで、売り切れや売れ残りを減らしていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○輸送における情報活用について調べる。	○コンビニエンスストアの取組と人々の生活とを関連付けられるように、配送の仕組みと一日の配送車の数のグラフを用意する。	◇輸送にも情報が生かされ地域の人々の安全・安心を確保することにもつながっていることを記述している。 <学習シート②>
1	○サービス面における情報活用について調べる。	○サービスの向上と人々の生活への影響を関連付けられるように、マルチコピー機でできることについて、今と昔に分けて記入する学習プリントを用意する。	◇情報通信技術を活用し、他の産業ともつながりながらサービスの幅を広げていることを記述している。 <学習シート①>	
・ま 生と かめ する	1	○学習問題の答えを出す。	○大量の情報を活用することで産業が発展したり、人々の生活が向上したりしていることを捉えられるように、コンビニエンスストアで情報が活用されている場面と関係を整理する学習シートを用意する。	◇大量の情報や情報通信技術を活用することで、コンビニエンスストアは利益を高め、多くのサービスを客に提供できるようになったことを記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・NHK for school の動画「コンビニの情報ネットワーク」では、レジで収集した情報を生かして商品開発や仕入れ数の決定をしている様子が分かる。第2時で活用するとよい。 ・テストは「IV-1」「IV-3」とともに行う。				

単元	IV-3 情報を生かすわたしたち			1・2月(4時間)
目標	情報活用の在り方について、各種の資料で調べ、自らの生活に与える影響を考えることを通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極めたり、活用したりする必要があることを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 情報活用の在り方について、ネットリテラシーを身に付け、情報の送り手、受け手それぞれの立場でルールやマナーを守って情報と関わる大切であることを理解している。</p> <p>情報活用の在り方について、統計資料やパンフレットなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 情報活用の在り方について、学習問題を見いだしたり、情報活用と自らの生活に与える影響とを関連付けて考えたりし、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 情報活用の在り方に関心を持ち、予想や学習計画を考え、意欲的に調べ、自らの情報との関わり方について見直し、今後について決定している。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○情報活用の在り方について問題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>学習問題例</p> <p>トラブルを避けるためには、インターネットとどのように関わっていくことが大切だろうか</p> </div>	○情報活用の在り方について疑問や調べたいことを考えられるように、SNSによるトラブルやネット上の詐欺等の新聞記事を用意する。	◇情報活用の在り方についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○情報活用に関するトラブルと原因について調べる。	○トラブルの原因と対策について調べられるように、小学生のネット利用実態調査やトラブル事例集などの資料を用意する。	◇インターネットに関するトラブルは、匿名性や痕跡の少なさ、時間的、空間的な制約を受けないことが主な原因であることを記述している。 <学習シート①>
・ま生とかめする	1	○学習問題の答えを出す。	○情報活用の在り方について、まとめられるように、情報活用に関するトラブルと原因、その対策を関連付けて整理する学習シートを用意する。	◇インターネットに関するトラブルを避けるためには、適切に情報を選択、活用し、ルールやマナーを守って情報と関わる大切であることを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○単元のまとめテストを行う。		
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストはIV-1, IV-2とともにを行う。 ・NHK for schoolの動画「情報化社会の落としあな」には、小学生が関わるネットトラブル事例が紹介されているので第1時に見るとよい。 ・トラブルの原因と対策を調べる際は、総務省が発行する「インターネットトラブル事例集」を活用するとよい。カリ管に保存してある。 ・国語「想像力のスイッチを入れよう」と関連させて行えるとよい。 				

大単元	V わたしたちの生活と環境	(15時間)
目標	国土の環境保全と自然災害の防止について理解し，人々の生活や産業と関わる我が国の国土の環境について関心をもつ。	

単元	V-1 自然災害を防ぐ	2月(6時間)		
目標	我が国の国土と国民生活との関連について，自然災害は国土の自然条件と関連して発生していることや，国民生活を守るために国や県などが様々な対策していることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 我が国の国土と国民生活との関連について，自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 我が国の国土と国民生活との関連について，必要な情報を集めて読み取ったり，まとめたりしている。 (②思・判・表) 我が国の国土と国民生活との関連について，学習問題を見いだしたり，自然災害の特色を国土の自然条件と関連付けて考えたりして表現している。 (③主体的態度) 我が国の国土と国民生活との関連について，予想や学習計画を考えたり，自然災害の対策への協力についての大切さを考えようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○世界と日本で起きた主な自然災害の資料から，疑問点や調べたいことを話し合い，問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 自然災害からわたしたちの生活をだれがどのように守っているのか </div>	○日本の自然災害についての疑問点や調べたいことをもてるように，日本と世界で起きた主な自然災害，自然災害死者数，M6以上の地震が起こった回数，日本の地形が分かる資料を提示する。 ○調べる観点を決められるように，日本で起きた主な自然災害の資料を基に，それら自然災害の対策について予想する活動を設定する。	◇我が国の自然災害の多さに関心を持ち，自然災害と被害者数に対する疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <調べる観点> ・地震災害への対策 ・津波災害への対策 ・風水害への対策 ・火山噴火・大雪への対策		◇日本で起きた主な自然災害の対策を予想し，記述している。 <学習シート③>
追究する	3	○自然災害の原因と対策の取組について調べる。	○国土の自然条件と自然災害とを関連付けられるように，自然災害とその対策を記述できる学習シートを用意する。	◇自然災害は，日本の地形や気候，人口の多さなどの原因によって発生していることを記述している。 <学習シート①>
まとめ か る す	1	○学習問題の答えを出す。	○自然災害への対策の共通点を見いだせるように，それぞれが作成した学習シートを基に話し合う時間を確保する。	◇自然災害は国土の自然条件などと関連して発生しており，国や県などが緊急時の対策と日頃の備えをの事業を進めて国民の命を守ろうとしていることを記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・追究する過程では，学習プリントに災害ごと色分けしたシールを貼り分布に着目して災害の特徴を捉える。その後，災害ごとに対策をまとめていくとよい。4年時に自然災害に対する対策について学習しているため，国土の自然と災害の関係を中心に扱うとよい。 ・NHK for school 動画「自然災害が多い日本」をまとめる・生かす過程で見せるとよい。 ・まとめテストは「v-3」とともに行う。				

単元	V-2 わたしたちの生活と森林			2月(4時間)
目標	我が国の国土の環境と国民生活の関連について地図帳や各種資料で調べ、国土の環境と国民生活を関連付けて考えることを通して、森林はその育成や保護に従事している人々の長い年月をかけた様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 我が国の国土の環境と国民生活の関連について森林はその育成や保護に従事している人々の長い年月をかけた様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。 我が国の国土の環境と国民生活の関連について写真や統計、文章等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の国土の環境と国民生活の関連について学習問題を見いだしたり、森林資源の育成や環境の保護と国民生活を関連付けて考えたりして、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の国土の環境と国民生活の関連に関心をもち、予想や学習計画を考え、意欲的に調べようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	<p>○天然林と人工林についての資料から、問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>学習問題例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 森林にはどのような働きがあり、どのように守っているのだろう </div> <p><調べる観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然林の働き ・人工林の働き 	○森林の働きや人々の生活との関わりに関する疑問点や調べたいことをもてるように、天然林と人工林の写真や森林面積の変化や森林分布の現状、森林放置の写真を提示する、	◇我が国の森林の現状について関心をもち、疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
追究する	1	○天然林の働きについて調べる。	○天然林の貴重さ保護の必要性に気付けるように、白神山地に生息する動植物や世界遺産に登録されるまでの経緯に関する資料を用意する。	◇天然林には観光資源、動植物のすみか、源流資源などの環境保全の役割があることを記述している。 <学習シート①>
	1	○人工林の働きについて調べる。	○人工林を手入れし、保全することの重要性に気付けるように、放置された人工林の写真と、その影響に関する資料を用意する。	◇人工林には、材料を生み出す働きがあり、林業に従事する人々により、長い年月をかけて育成されていることを記述している。 <学習シート①>
・まとめ	1	○学習問題の答えを出し、森林を守るために自分にできることを決める。	○森林を守るためにできることを選択・判断できるように、ラムサール条約やナショナル・トラスト運動の資料を用意する。	◇森林には国土を保全する働きがあり、林業や森林管理局の人々の保全活動により国民がその恩恵を受けていることを基に、森林を守るために自分にできることを、持続可能な視点で記述している。 <学習シート①②③>
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK for school 動画「森林とわたしたちの暮らし」をまとめる・生かす過程で見せるとよい。 ・林野庁ウェブページ http://www.rinya.maff.go.jp/kids/top.html ・全国森林組合連合会ウェブページ http://www.zenmori.org/kanbatsu/topmenu/hanashi.htm ・農林水産省発行資料「ジュニア農林水産白書」等を活用するとよい。(申請して送付していただく。) ・まとめテストは「V-3」とともに行う。 				

単元	V-3 環境を守るわたしたち			3月(5時間)
目標	我が国の国土の環境と国民生活の関連について、関係機関や地域の人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解する。			
評価規準	(①知・技) 我が国の国土の環境と国民生活の関連について関係機関や地域の人々の努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。 公害の原因や被害の様子、公害の防止や生活改善等の取組に関わる写真や統計、文章等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 公害について公害と人々の生活や産業、自分の生活とを関連させて考え、表現している。 (③主体的態度) 公害が国民の健康や生活環境に及ぼす影響や、公害の防止や生活改善等の取組に関心をもち、学習問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べるとともに、環境を守る取組に参画しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○産業の発展により汚濁した鴨川についての資料等から問題をつかみ、学習計画を立てる。 学習問題例 公害の原因と対策はどのようなものなのだろう <調べる観点> ・公害の原因 ・公害への対策	○調べる観点を決められるように、鴨川の水質変化を示す資料を基に、環境や人々の生活の変化について予想する活動を設定する。	◇京都市鴨川の水質汚濁の原因や被害の様子、環境改善についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	I	○公害の原因を調べる。	○公害と経済の発展を関連付けられるように、GDP値と川のよごれを表すグラフを用意する。	◇公害の原因は、工場や家庭が不経済を外部に出すことによって発生することを記述している。 <学習シート①>
追究する	I	○鴨川的环境や人々の生活が変化した経緯と環境をよりよくする取組を調べる。	○公害がもたらした被害と人々の取り組んだ環境改善への対策を関連付けて考えられるように、鴨川的环境や人々の生活が変化した要因を整理する学習シートを用意する。	◇水質や人々の生活が変化した要因に、公害を防止するための工夫や努力があったことを記述している。 <学習シート①>
	I	○学習問題の答えを出し、健康な生活をするために自分たちにできることについて考えをもつ。	○健康な生活をするためには公害防止を意識した生活が大切であることを理解できるように、生活公害を防ぐための取組の共通点を整理する学習シートを用意する。	◇公害を防止するための自分なりの工夫や努力を記述している。 <学習シート①②③>
・ま生とかめする	I	○単元のまとめテストを行う。		
【備考】 ・NHK for school 動画「水を汚してしまった歴史」00:12~00:42及び「未来広告ジャパン 自然環境を守る」05:00~を第1時に見せるとよい。				